

# 2021年2月の福島県沖地震における支援活動について

メタデータ	言語: jpn 出版者: 明治大学司書・司書教諭課程 公開日: 2022-05-30 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 中村, 夏奈子 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10291/22493">http://hdl.handle.net/10291/22493</a>

## 2021年2月の福島県沖地震における支援活動について

明治大学文学部卒業生

中村 夏奈子

2月13日23時8分、福島県で大きな地震があったとのニュースが飛び込んできた。2018年と2019年に図書館ボランティア活動へ向かった新地町の揺れは最大震度である6強だった。

翌朝地震の詳しい情報を調べていたところ、新聞記者でありルポライターである三浦英之さんのツイートを見つけた。そこには新地町図書館の書架の本がほぼ全て落下している衝撃的な映像が映されていた。また他のツイートでは図書館長がインタビューに応じている姿も映っていた。「どうしたら良いかわからない」と答える館長の姿を見るのは、活動で大変お世話になった人であるだけに、尚更心が痛んだ。実際に現地で本を書架に戻すお手伝いがしたかったが、新型コロナウィルスが猛威を奮っている以上、県を越えた移動は非常にリスクが高い。

しかし現地へ向かえないにしても、少しでも力になれることはできないかと感じ、同じくボランティアに2回参加していた秋澤奈緒さんと連絡をとった。彼女も同じことを感じていたため、遠方からでもできる支援策は何があるか2人で話し合った。また秋澤さんが震災等復興活動支援センターや鳥居高先生にも連絡を取り、どのような企画が良いかということを図書館の方にヒアリングしたところ「利用者の方がクスッと笑えるようなもの」というご意見を頂いた。このご意見から様々な企画案を考え、最終的に映画やドラマ作品から好みに合わせたおすすめの本を紹介するという企画はどうかという話になった。これは秋澤さんも私自身も映像作品が好きだということ、また今までやったことのない企画であり、子供から大人まで幅広い世代で楽しめそうだと考えたからだ。

企画が決まってからはどの映画作品にするか、そして作品から逆引きしておすすめする本は何にするかということ話し合った。最終的に大人向けとしては『半沢直樹』、子供向けとして『アナと雪の女王』、若者（学生）～大人向けに『コンフィデンスマンJPロマンス編』と『ブラダを着た悪魔』の2つを選びそれぞれにつき2冊の本を紹介した。紹介する本も小説だけではなく、『コンフィデンスマンJP』においては『人たらしのブラック心理術』といった実用書を紹介するなど幅広い本を選ぶように心がけた。作品が決まってからはそれぞれの紹介文や模造紙内のレイアウトを考えた。この間の話し合いは全て通話やメールで行っていたので、手探りで大変な部分も多かった。ただ鳥居先生や支援センターの方のお力添えで、教室を1日貸して頂けることになっており、対面で集まる前日夜までにはある程度形にすることができた。そして当日は10時ごろから模造紙に書き込む作業を開始した。カラーコピーされた映画のビジュアルや本の表紙、ポスカや色画用紙を使って親しみやすいイラストなども入れながら、なるべく利用者の方が見やすく、そして笑顔になるようなレイアウトにすることも心がけた。集まる前に方向性を決めていたこともあり、作業は16時には終了した。模造紙は支援センターの方から図書館に発送して頂けることとなり、後日図書館の方々からメールにて感謝のお言葉をいただいた。

現代は技術の発達により遠方においても気軽に連絡を取り、話し合うことが可能になった。たとえ現地へ直接行けなくても、支援する方法は工夫次第でいくらでもあると実感した活動であった。